

中部大会速報

17

石川県野々市明倫高校

詩人の人生を生きる

中也を包み込む雪

27日、野々市明倫高等学校

(石川県)が「私の上に降る雪は」を上演。文学的で、その時代の背景を上手く表現した。上演後、キャスト、演出の方にインタビューした結果をまとめた。

細かな演出

同校は以前まで、学生生活を描いた脚本を上演してきた。今までにない、新しい劇をやりたいと思い、今回の脚本にした。さらに、「私の上に降る雪は」は、有名な作家である「中原中也」を題材にしたものであり、観客を驚か

主人公、中原中也

せることができた。

キャストを大幅に変更した。中でも、「中原中也」役に関係するキャストを変更した。その結果、中原中也役の荻田が、新しいセリフを覚えるのが大変だったり、表情が固くなったりと、様々な出来事が起つた。

中原中也を意識するため実際に詠んだ詩を読んだり、いろいろなところから情報を取り入れたりするなど、中原に降る雪は」は、有名な作家である「中原中也」を題材にしたものであり、観客を驚か



時代を感じさせる大道具と小道具を駆使。

細かい舞台装置

舞台装置では、中原中也を題材にした映画を参考に作成。小道具に関しては、本物を使うなど、リアリティを追求した。

編集後記

「私の上に降る雪は」は、今大会ではなかなか見なかつた、文学的な脚本であり、



劇ラスト。中也が病気になるシーン。

作品名

私の上に降る雪は

発行

第68回中部日本高等学校演劇大会生徒実行委員会 広報

2015年

12月 27日

大変さや、人間関係についても、学ぶことが多くあり、楽しかった。

感想力ードより

8月の県大会とキャストが変わったので、違った劇を見ていました。中也の詩を勉強してから観劇すると、また一段と中也の世界に入り込めたと思う。舞台装置もパワーアップしていた。(匿名)

この劇はまさに本を読んでいたかのようだった。大正の時のセツトも能を彷彿とさせるかのようで、より一層雰囲気が出たように思う。声が聞き取りやすかった。(匿名)

今回、中部大会を作成させていたいた広報スタッフです。最後まで速報をお読みいただき、ありがとうございました。代表して、齋藤が御礼申し上げます。

(担当) 齋藤、前香村、川江